

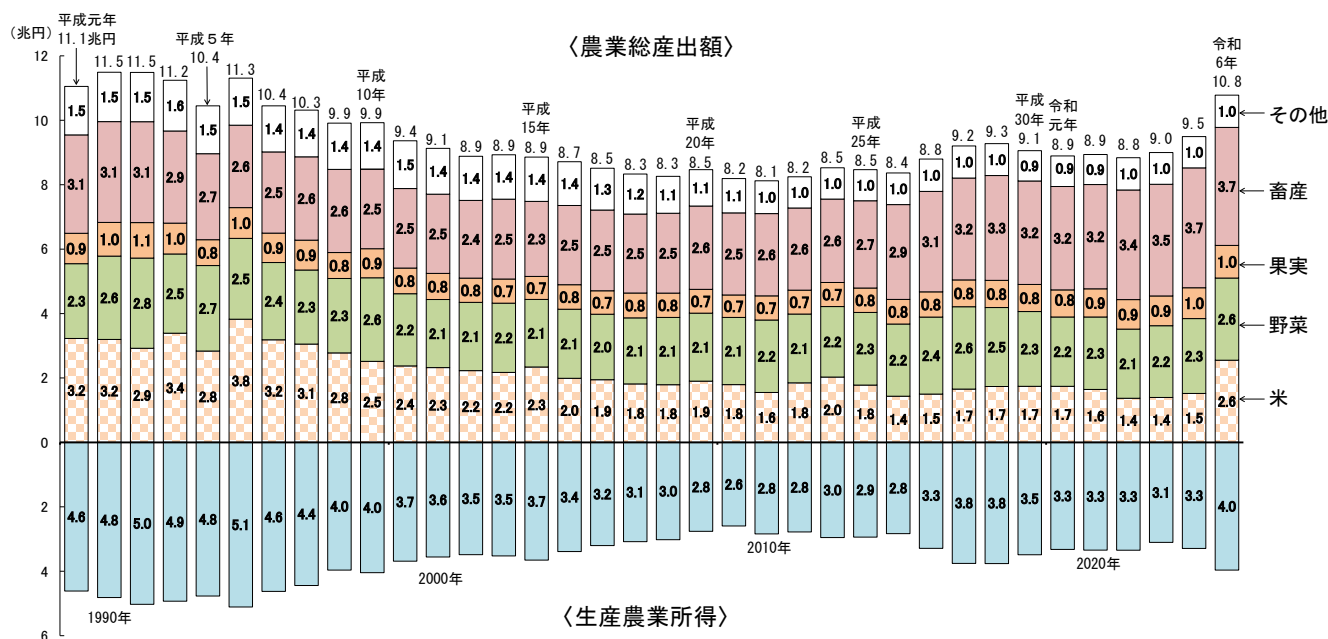
令和6年 農業総産出額及び生産農業所得（全国）

令和6年の農業総産出額は、米や野菜の価格が上昇したこと等から、平成8年以来28年ぶりに10兆円台となった。

【統計結果の概要】

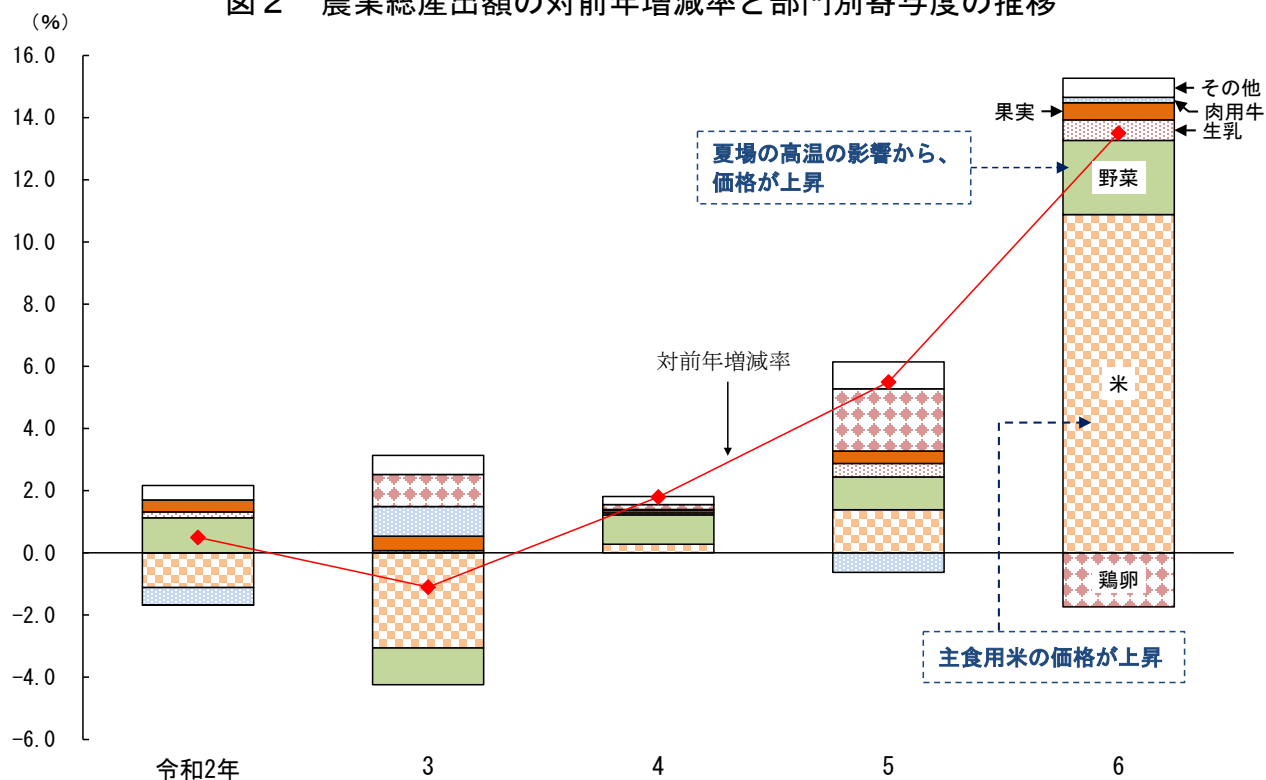
- 1 令和6年の農業総産出額は、米や野菜の価格が上昇したこと等から、前年に比べ1兆2,849億円（13.5%）増加し、10兆7,801億円となった。
- 2 令和6年の生産農業所得は、農産物の価格が上昇したこと等から、前年に比べ6,728億円（20.4%）増加し、3兆9,649億円となった。

図1 農業総産出額及び生産農業所得の推移



注：表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

図2 農業総産出額の対前年増減率と部門別寄与度の推移



【関連データ】

主要農産物の輸出額の推移

区 分	令和2年	3	4	5	6	対前年増減率	
						5 / 4	6 / 5
	億円	億円	億円	億円	億円	%	%
農林水産物 計	9,256	11,626	13,372	13,580	14,092	1.6	3.8
農産物 計	6,552	8,041	8,862	9,058	9,816	2.2	8.4
うち 米	53	59	74	94	120	27.5	27.8
野菜	122	130	162	158	166	△ 2.3	5.1
果実	323	440	517	513	566	△ 0.8	10.3
切花	8	13	15	17	16	12.8	△ 3.7
緑茶	162	204	219	292	364	33.3	24.6
牛肉	289	537	513	570	636	11.0	11.6
牛乳	18	18	20	18	20	△ 8.0	10.5
豚肉	18	20	19	21	18	10.5	△ 14.2
鳥卵・卵黄	47	60	86	70	71	△ 18.3	1.8
鶏肉	21	13	10	14	13	35.2	△ 5.2

資料：農林水産省輸出・国際局「農林水産物輸出入概況」

注：1 金額は、FOB価格（Free on board、運賃・保険料を含まない価格）である。

2 対前年増減率は、原数値（千円単位）で算出した数値である。

3 米には援助米を含まない。また、野菜・果実には調製品、牛乳には部分脱脂乳、牛肉・豚肉・鶏肉にはくず肉を含む。

3 部門・品目

(1) 米

令和6年の産出額は、前年に比べ1兆331億円（68.0%）増加し、2兆5,524億円となった。

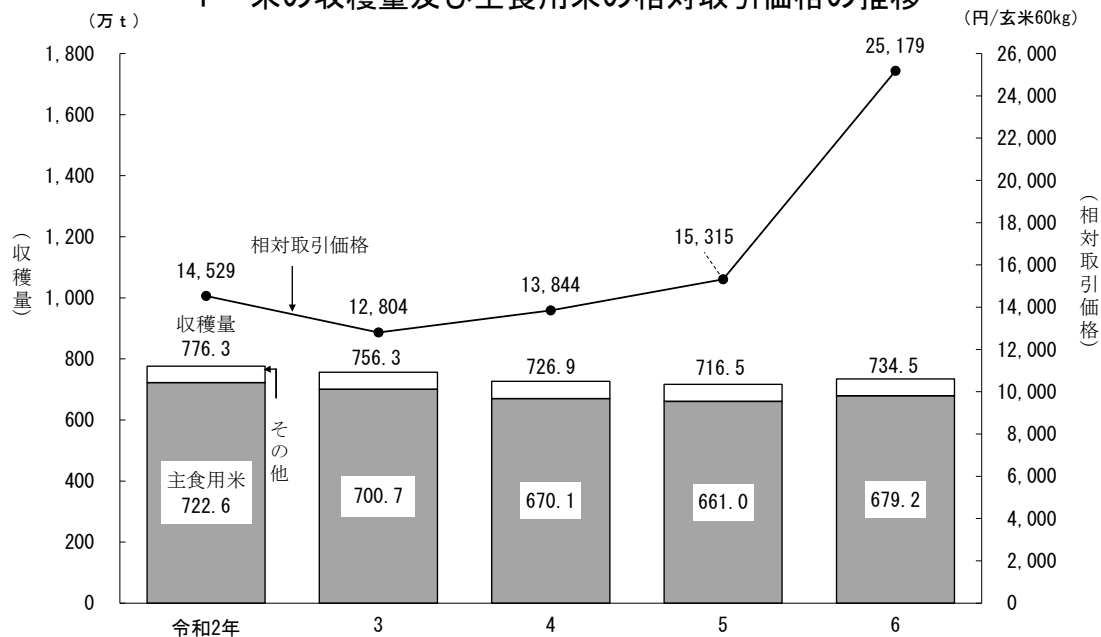
これは、主食用米の価格が高騰したこと等によるものと考えられる。

表1 米の産出額の推移

区分	単位	令和2年	3	4	5	6
実額	億円	16,431	13,699	13,946	15,193	25,524
対前年増減率	%	△5.7	△16.6	1.8	8.9	68.0

【関連データ】

1 米の収穫量及び主食用米の相対取引価格の推移

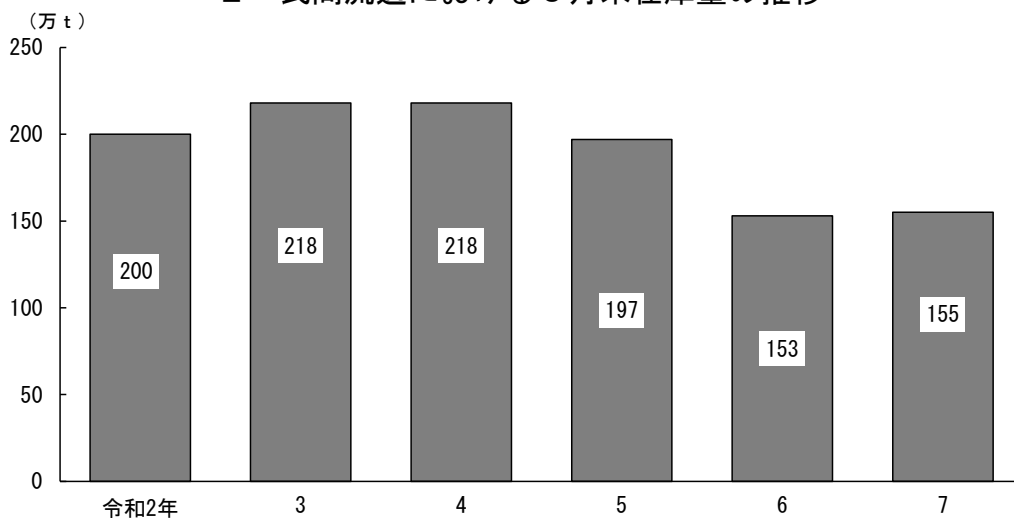


資料：農林水産省統計部「作物統計調査」及び農林水産省農産局「米の相対取引価格・数量」

注：1 相対取引価格は、当該年産の出回りから翌年10月までの通年平均価格である。

2 収穫量の「その他」は、備蓄米、加工用米、新規需要米等である。

2 民間流通における6月末在庫量の推移



資料：農林水産省農産局「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（令和7年10月31日）」

注：うるち玄米及びもち玄米を合算した値（玄米ベース）である。

(2) いも類

令和6年の産出額は、前年に比べ264億円（11.5%）増加し、2,565億円となった。

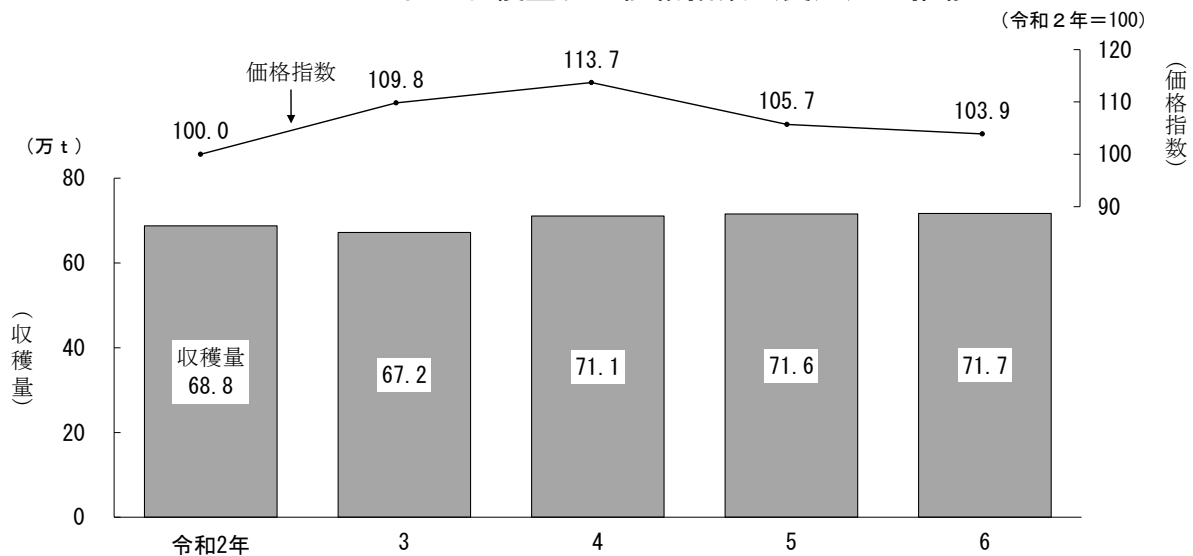
これは、ばれいしょにおいて春の多雨、夏の高湿等の影響により生産量が減少し、価格が上昇したこと等が寄与したものと考えられる。

表2 いも類の産出額の推移

区分	単位	令和2年	3	4	5	6
実額	億円	2,370	2,358	2,199	2,301	2,565
対前年増減率	%	19.0	△0.5	△6.7	4.6	11.5

【関連データ】

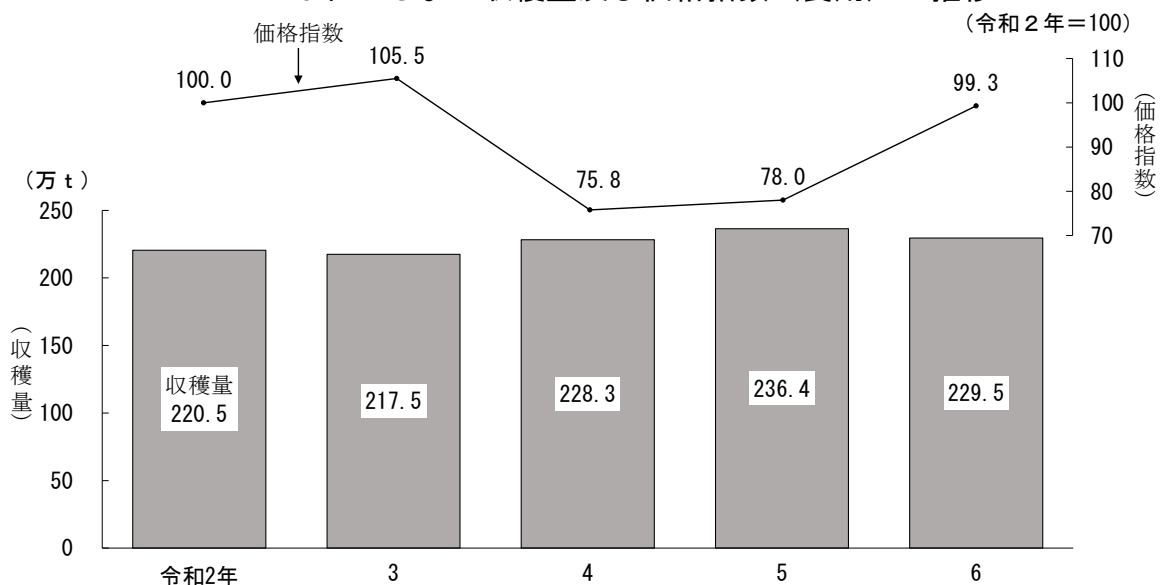
1 かんしょの収穫量及び価格指数（食用）の推移



資料：農林水産省統計部「作物統計調査」及び「農産物価統計調査」

注：価格指数は、食用の結果である。

2 ばれいしょの収穫量及び価格指数（食用）の推移



資料：農林水産省統計部「作物統計調査」及び「農産物価統計調査」

注：価格指数は、「農産物価統計調査」における食用の結果を「作物統計調査」の年産区分（4月～翌年3月）で再集計した結果である。

(3) 野菜

令和6年の産出額は、前年に比べ2,267億円（9.8%）増加し、2兆5,510億円となった。

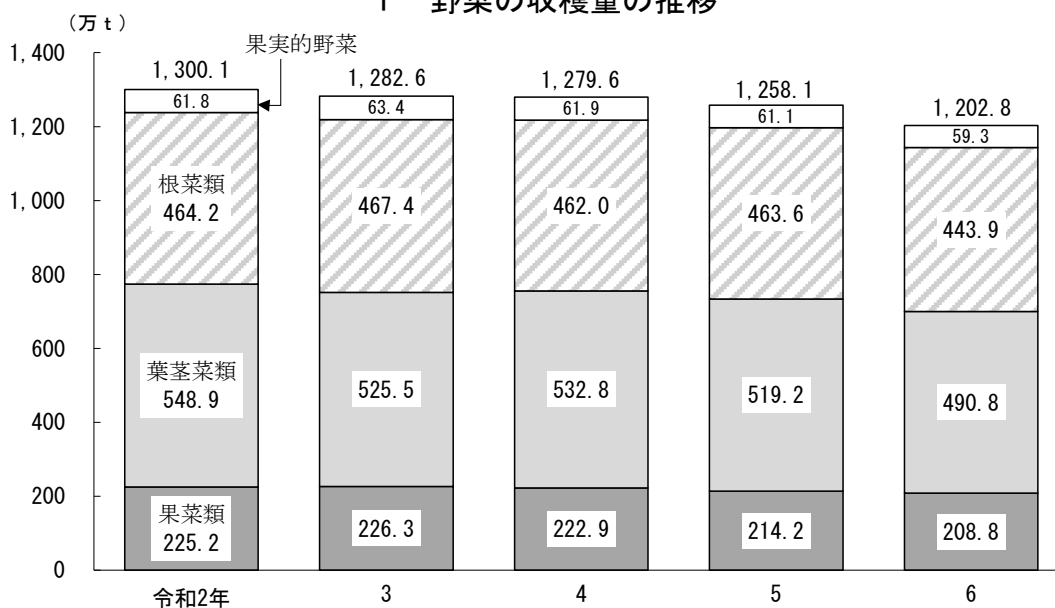
これは、キャベツ、レタス、はくさい等において夏の高温等の影響により生産量が減少し、価格が上昇したこと等が寄与したものと考えられる。

表3 野菜の産出額の推移

区分	単位	令和2年	3	4	5	6
実額	億円	22,519	21,463	22,294	23,243	25,510
対前年増減率	%	4.7	△4.7	3.9	4.3	9.8

【関連データ】

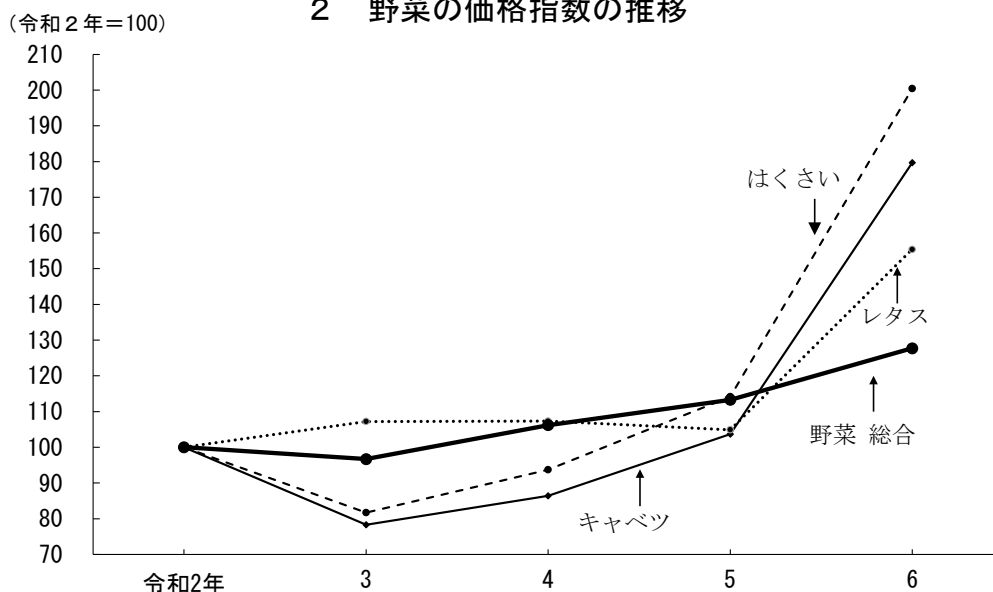
1 野菜の収穫量の推移



資料：農林水産省統計部「作物統計調査」

注：ここでの野菜は、根菜類、葉茎菜類、果菜類、果实的野菜である。

2 野菜の価格指数の推移



資料：農林水産省統計部「農業物価統計調査」

注：「農業物価統計調査」の結果を「作物統計調査」の年産区分で再集計した結果（野菜総合は、令和6年1～12月による年平均値）である。

(4) 果実

令和6年の産出額は、前年に比べ522億円（5.4%）増加し、1兆112億円となった。

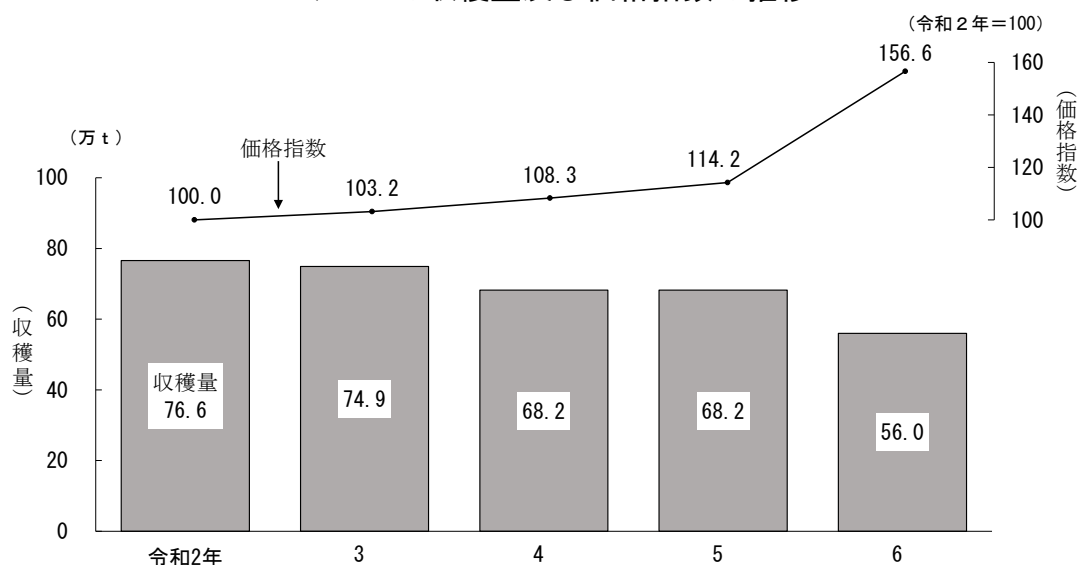
これは、夏の高温等の影響により、みかんにおいて生産量が減少したこと、りんごにおいて2年連続して生産量が低位に留まったこと等のため、様々な品目の価格が上昇したこと等が寄与したものと考えられる。

表4 果実の産出額の推移

区分	単位	令和2年	3	4	5	6
実額	億円	8,741	9,159	9,232	9,590	10,112
対前年増減率	%	4.1	4.8	0.8	3.9	5.4

【関連データ】

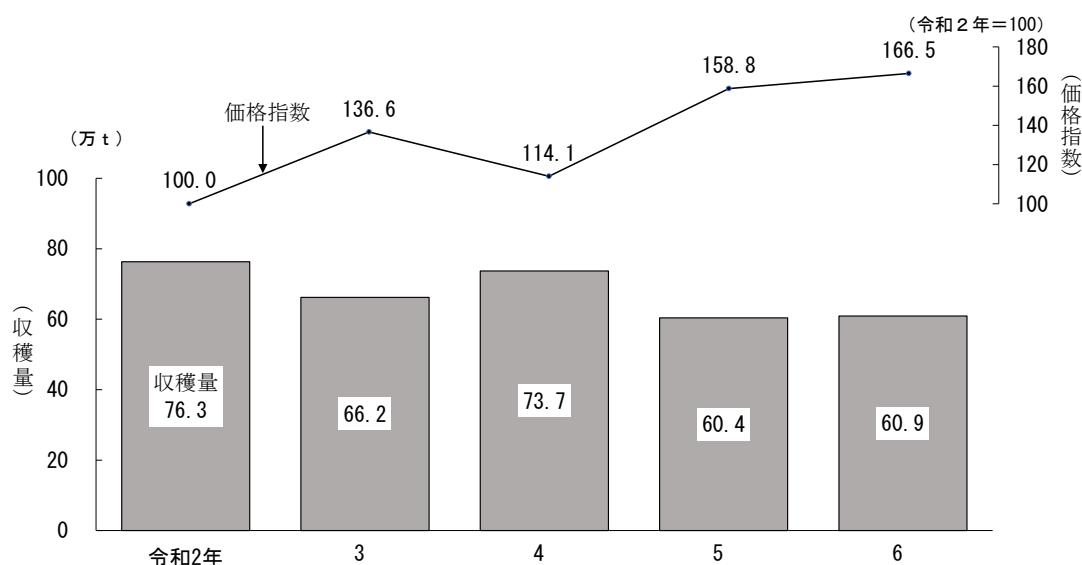
1 みかんの収穫量及び価格指数の推移



資料：農林水産省統計部「作物統計調査」、「農業物価統計調査」

注：価格指数は、「農業物価統計調査」の結果を「作物統計調査」の年産区分（8月～翌年7月）で再集計した結果である。

2 りんごの収穫量及び価格指数の推移



資料：農林水産省統計部「作物統計調査」、「農業物価統計調査」

注：価格指数は、「農業物価統計調査」の結果を「作物統計調査」の年産区分（8月～翌年7月）で再集計した結果である。

(5) 花き

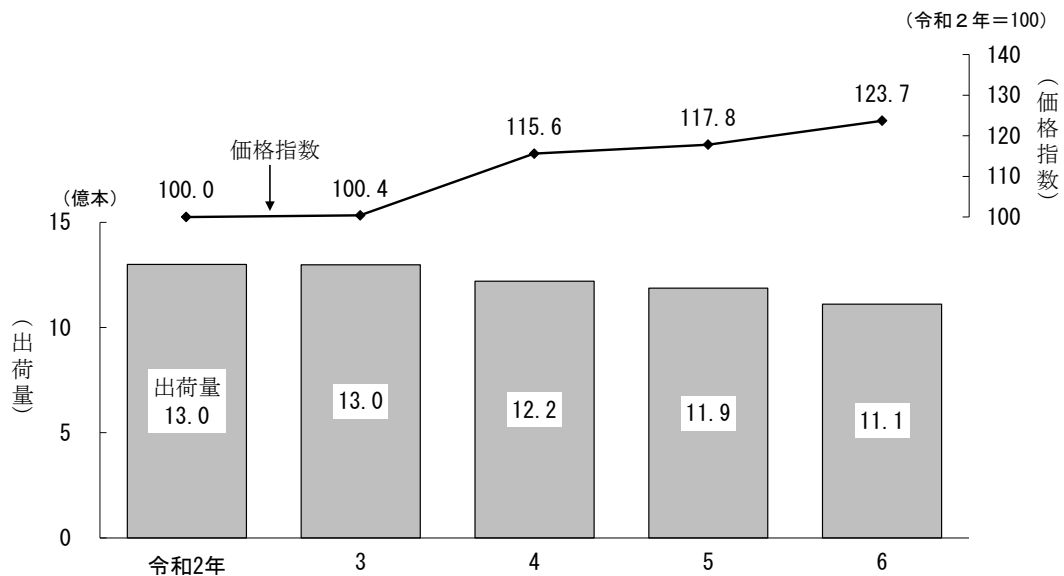
令和6年の産出額は、前年に比べ99億円（2.8%）減少し、3,423億円となった。
これは、切り花類や鉢ものの類において夏の高温等の影響により生産量が減少したこと等が影響したものと考えられる。

表5 花きの産出額の推移

区分	単位	令和2年	3	4	5	6
実額	億円	3,080	3,306	3,492	3,522	3,423
対前年増減率	%	△5.6	7.3	5.6	0.9	△2.8

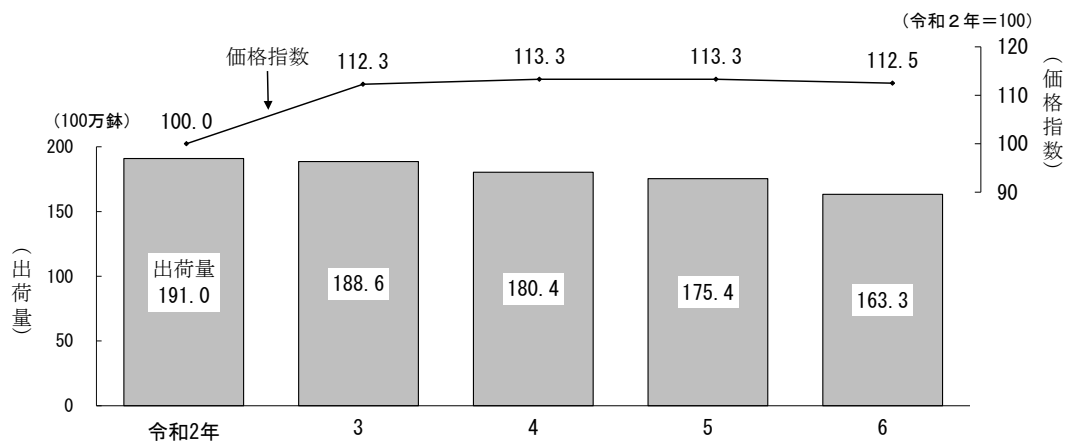
【関連データ】

1 きく（切り花）の出荷量及び価格指数



資料：農林水産省統計部「作物統計調査」及び「農産物価統計調査」

2 鉢ものの類の出荷量及び価格指数の推移



資料：農林水産省統計部「作物統計調査」及び「農産物価統計調査」

(6) 茶

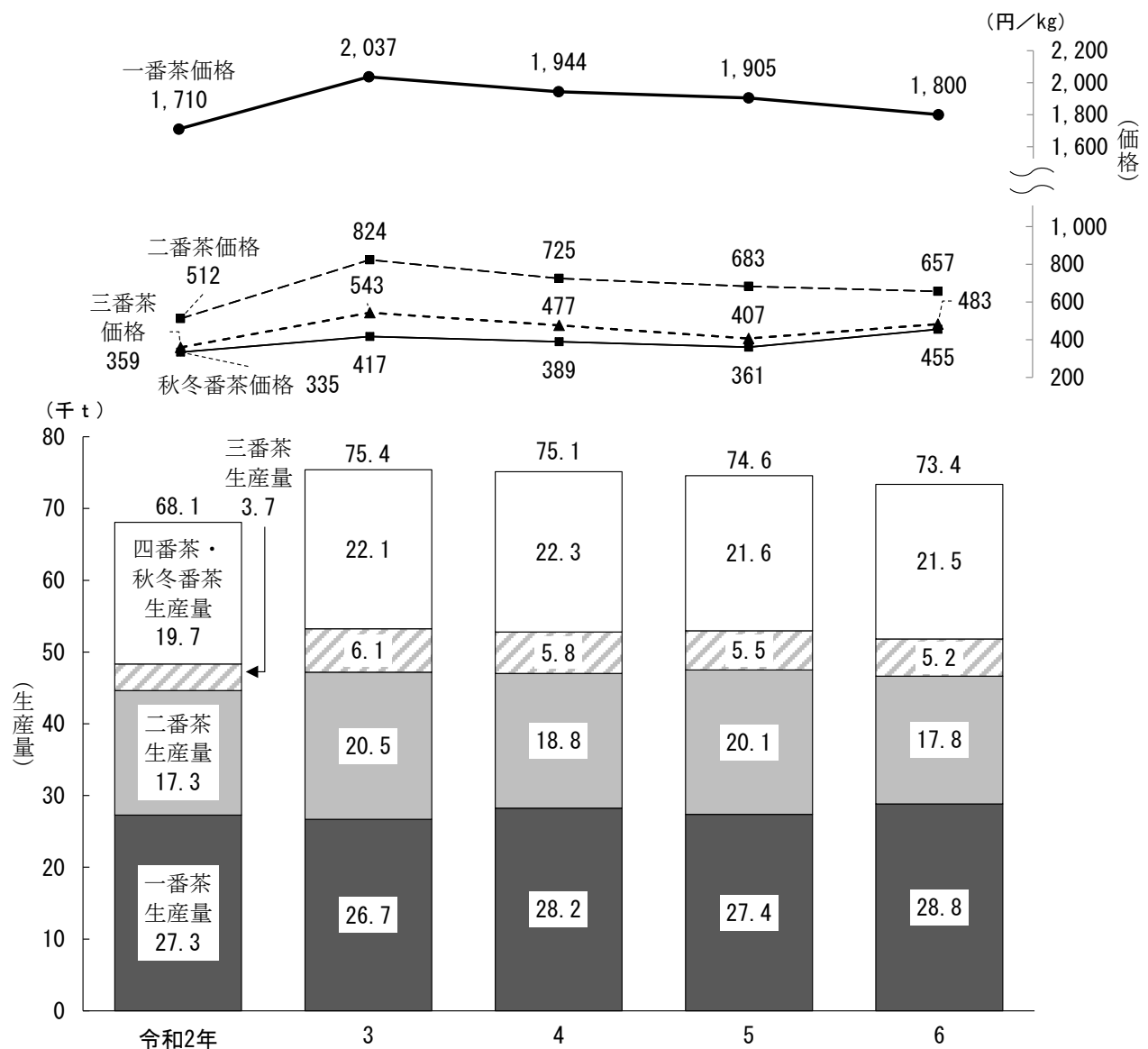
令和6年の産出額は、前年に比べ1億円（0.2%）減少し、442億円となった。

これは、三番茶以降の価格が上昇した一方、一番茶の価格が低下したことや二番茶の生産量が減少したこと等が影響したものと考えられる。

表6 茶の産出額の推移

区分	単位	令和2年	3	4	5	6
実額	億円	409	495	471	443	442
対前年増減率	%	△21.6	21.0	△4.8	△5.9	△0.2

【関連データ】 茶期ごとの荒茶生産量及び価格（普通せん茶）の推移



資料：農林水産省農産局「茶をめぐる情勢」

茶期別生産量、茶期ごとの価格（普通せん茶）は、全国茶生産団体連合会調べ

(7) 肉用牛

令和6年の産出額は、前年に比べ165億円(2.1%)増加し、7,861億円となった。

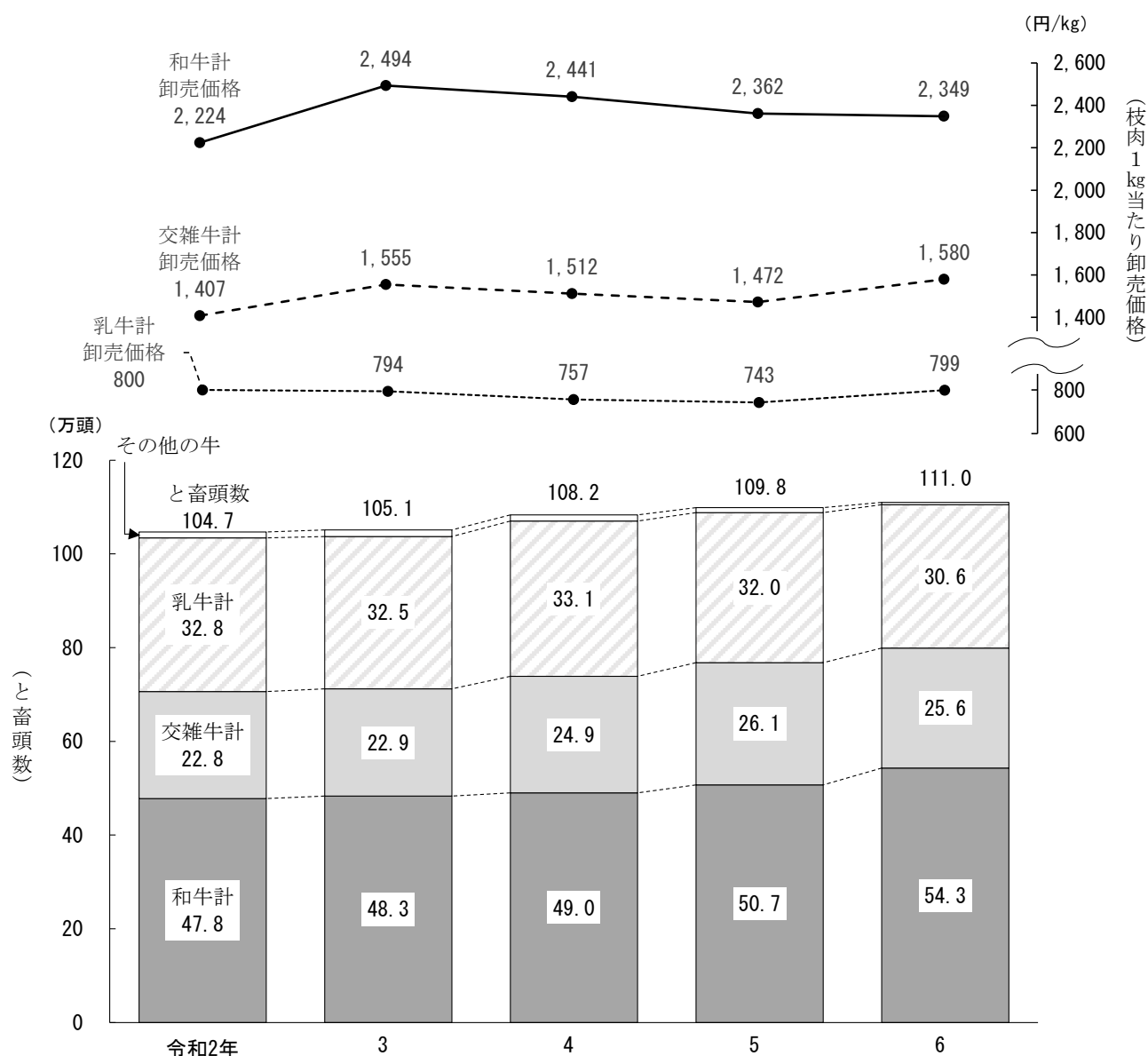
これは、令和2～3年にかけての乳用牛への和牛受精卵の利用割合や繁殖雌牛の増加により、出生頭数が増加し、令和6年に出荷された和牛の頭数が増加したこと等が寄与したものと考えられる。

表7 肉用牛の産出額の推移

区分	単位	令和2年	3	4	5	6
実額	億円	7,385	8,232	8,257	7,696	7,861
対前年増減率	%	△6.3	11.5	0.3	△6.8	2.1

【関連データ】

肉用牛のと畜頭数及び牛肉の卸売価格の推移



資料：農林水産省統計部「畜産物流通調査（と畜場統計調査）」及び「畜産物流通調査（食肉卸売市場調査）」

注：と畜頭数は、成牛の数値である。

(8) 生乳

令和6年の産出額は、前年に比べ627億円(7.5%)増加し、8,937億円となった。

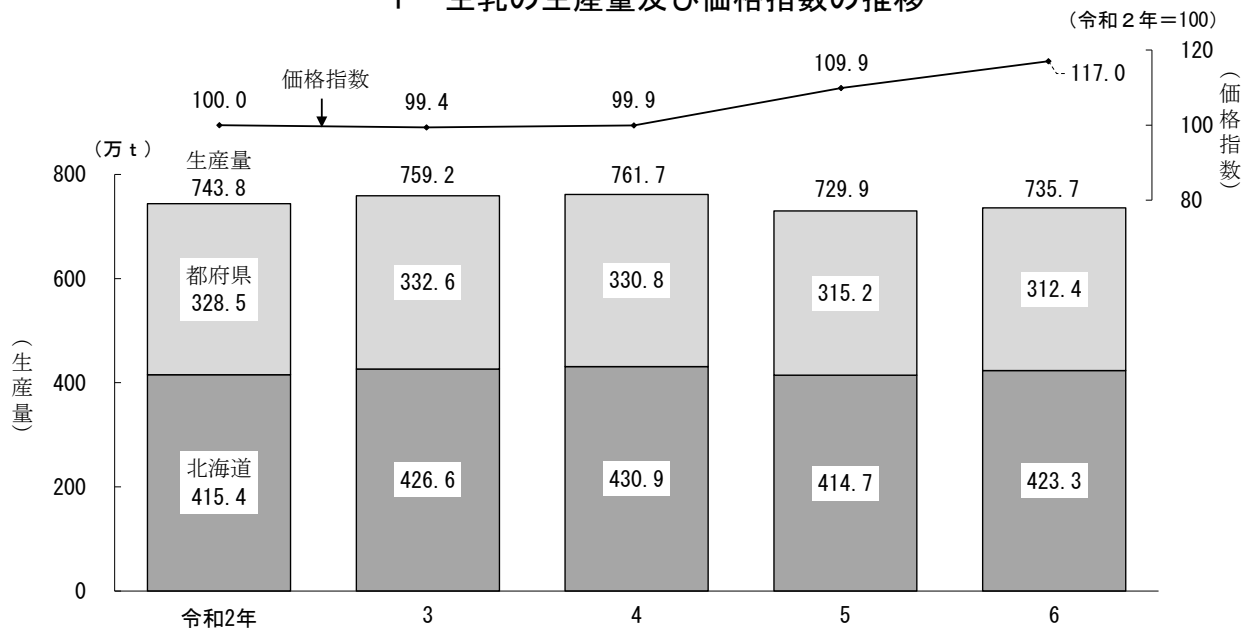
これは、生産抑制が見直されたこと等により生産量が増加したこと、令和5年中に乳価が引き上げられたこと等が寄与したものと考えられる。

表8 生乳の産出額の推移

区分	単位	令和2年	3	4	5	6
実額	億円	7,797	7,861	7,916	8,310	8,937
対前年増減率	%	2.2	0.8	0.7	5.0	7.5

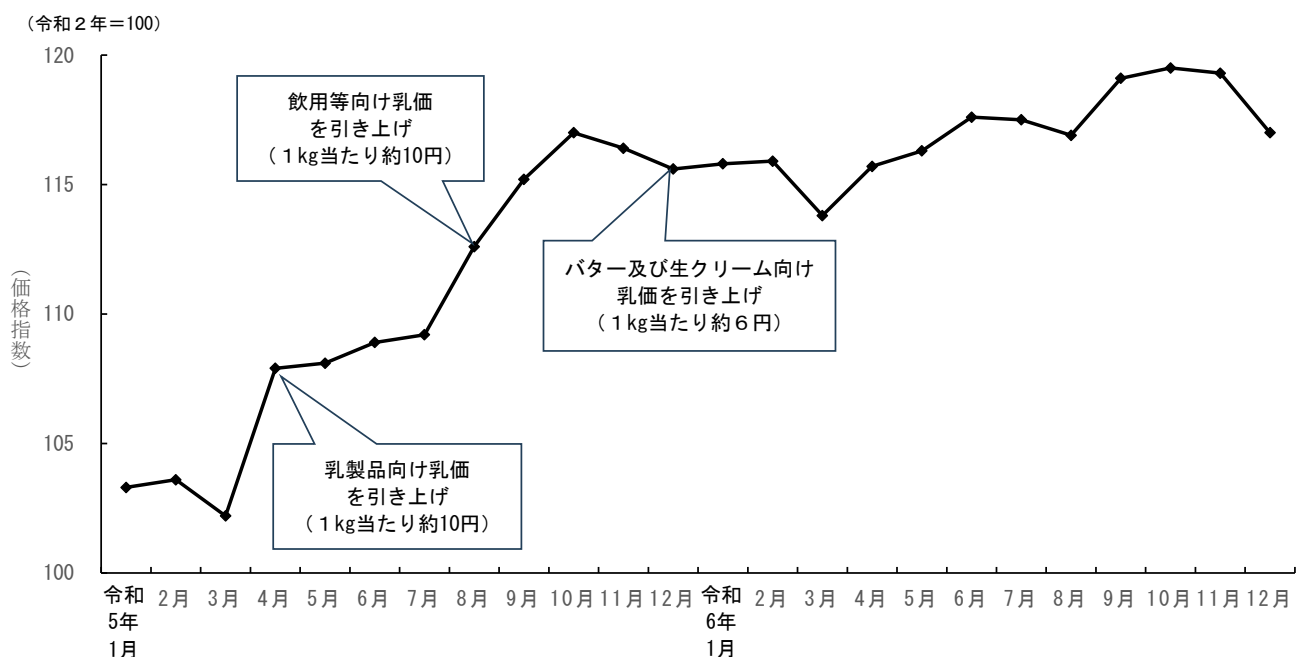
【関連データ】

1 生乳の生産量及び価格指数の推移



資料：農林水産省統計部「牛乳乳製品統計調査」及び「農業物価統計調査」

2 生乳の月別価格指数の推移



資料：農林水産省統計部「農業物価統計調査」

(9) 豚

令和6年の産出額は、前年に比べ373億円(5.2%)増加し、7,567億円となった。

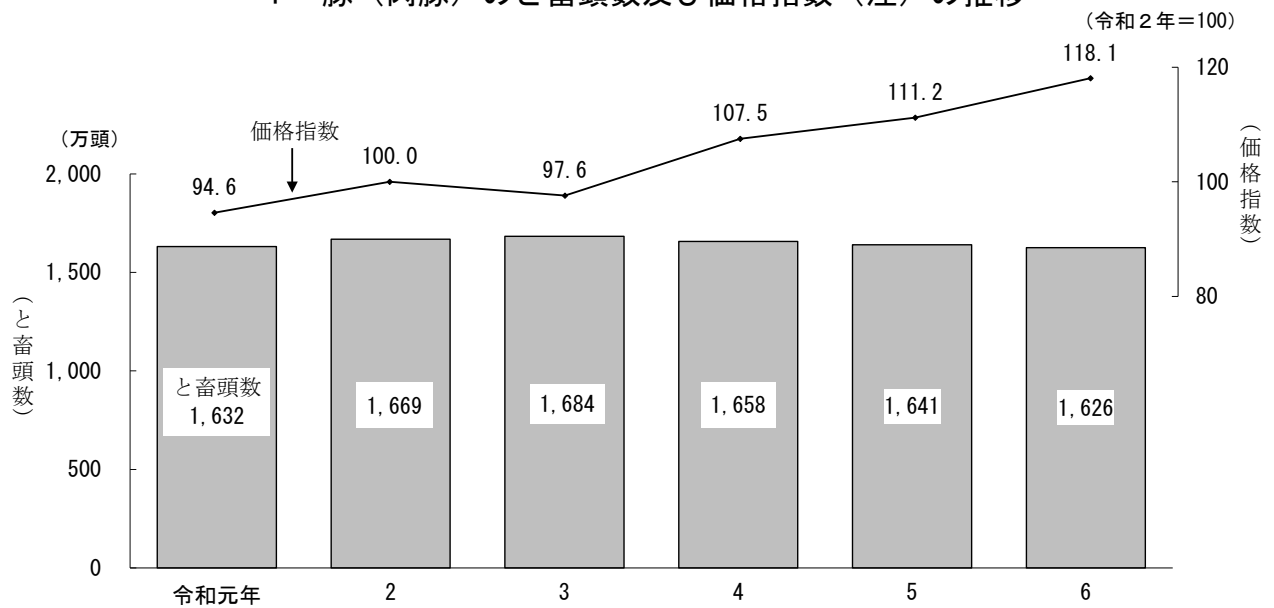
これは、引き続き需要が高い中、出荷頭数は前年を下回ったことにより、価格が堅調に推移したこと等が寄与したものと考えられる。

表9 豚の産出額の推移

区分	単位	令和2年	3	4	5	6
実額	億円	6,619	6,360	6,713	7,194	7,567
対前年増減率	%	9.2	△3.9	5.6	7.2	5.2

【関連データ】

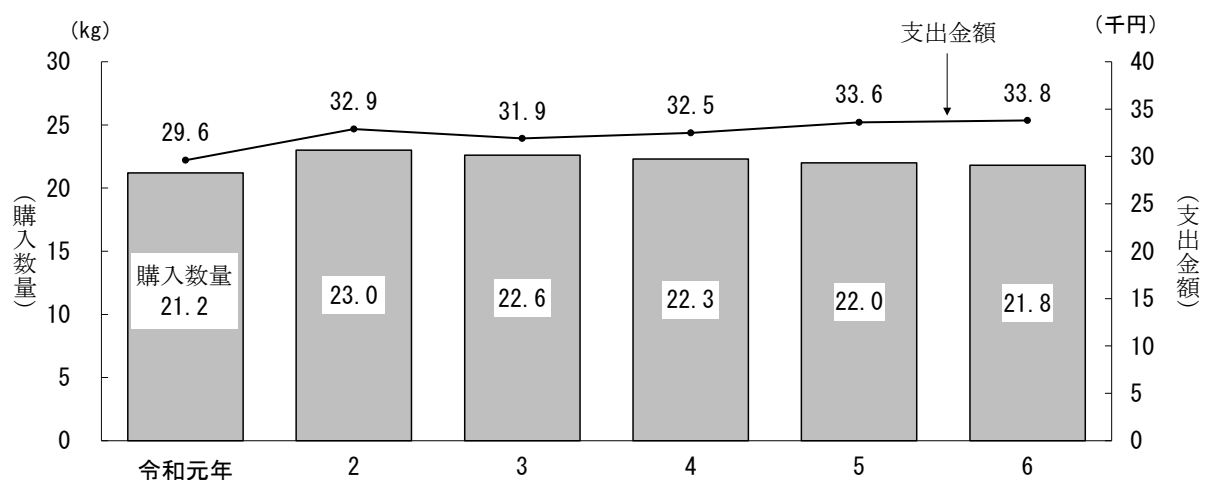
1 豚(肉豚)のと畜頭数及び価格指数(注)の推移



資料：農林水産省統計部「畜産物流通調査(と畜場統計調査)」及び「農業物価統計調査」

注：価格指数は、生体10kg当たり価格による結果である。

2 豚肉の1世帯当たり年間の購入数量及び支出金額の推移



資料：総務省統計局「家計調査」(家計収支編) (二人以上の世帯)

(10) 鶏卵

令和6年の産出額は、前年に比べ1,649億円（22.2%）減少し、5,764億円となった。

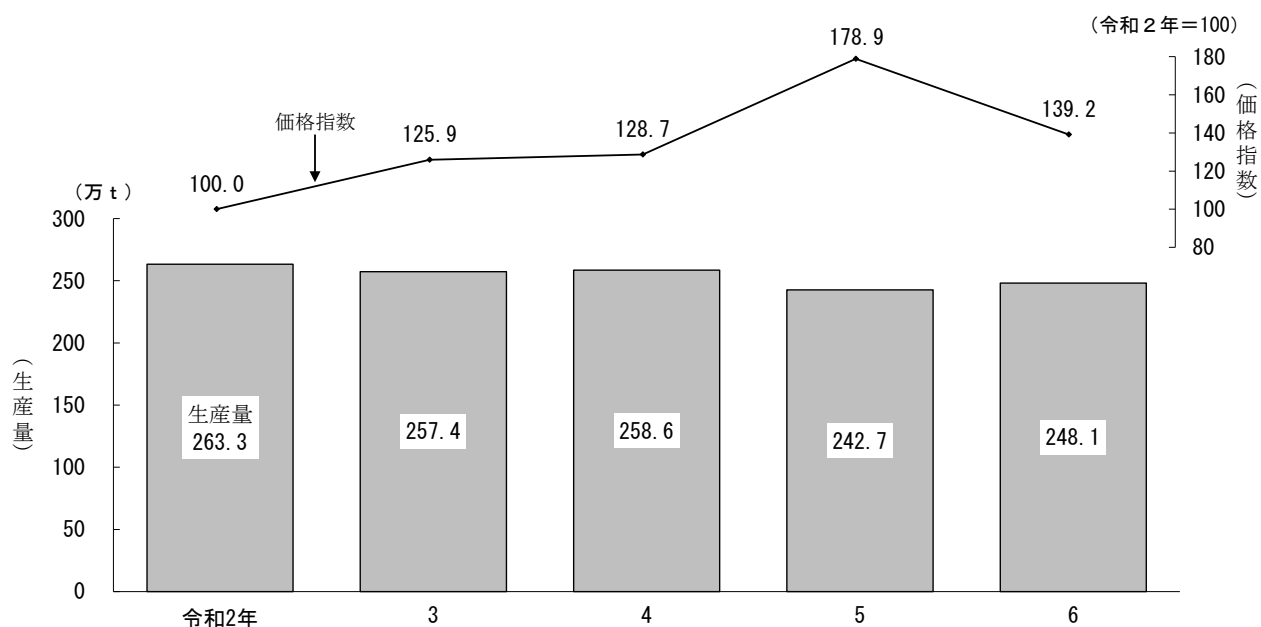
これは、令和4年10月以降に発生した鳥インフルエンザの影響により減少した生産量が回復傾向で推移する中、価格が前年より低下したこと等が影響したものと考えられる。

表10 鶏卵の産出額の推移

区分	単位	令和2年	3	4	5	6
実額	億円	4,546	5,470	5,612	7,413	5,764
対前年増減率	%	△0.1	20.3	2.6	32.1	△22.2

【関連データ】

鶏卵の生産量及び価格指数の推移



資料：農林水産省統計部「畜産物流通調査（鶏卵流通統計調査）」及び「農業物価統計調査」

(11) ブロイラー

令和6年の産出額は、前年に比べ212億円(4.7%)減少し、4,259億円となった。

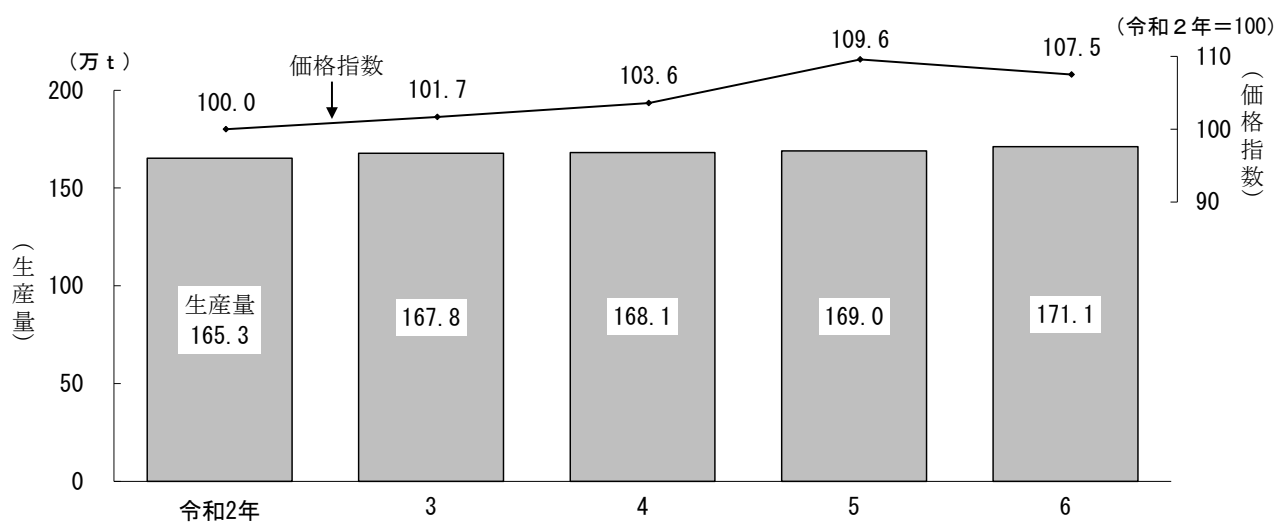
これは、生産量はおおむね前年並みであったものの、高値基調となっていた価格が前年に比べ低下したこと等が影響したものと考えられる。

表 11 ブロイラーの産出額の推移

区分	単位	令和2年	3	4	5	6
実額	億円	3,621	3,740	3,940	4,471	4,259
対前年増減率	%	3.2	3.3	5.3	13.5	△4.7

【関連データ】

ブロイラー（鶏肉）の生産量及び価格指数の推移



資料：農林水産省政策課「食料需給表」及び農林水産省統計部「農作物価統計調査」

注：生産量は年度の数値であり、令和6年は概算値である。

4 生産農業所得

令和6年の生産農業所得は、前年に比べ6,728億円（20.4％）増加し、3兆9,649億円となった。

これは、農産物の価格が上昇したこと等が寄与したものと考えられる。

表 12 生産農業所得の推移

区分	単位	令和2年	3	4	5	6
実額	億円	33,433	33,478	31,044	32,921	39,649
対前年増減率	％	0.7	0.1	△7.3	6.0	20.4

【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040379119&ext=xls>

【統計の概要】

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou_sansyutu/gaiyou/

【統計結果の主な利活用】

- ・ 農業諸施策、地域振興計画の策定・評価等の資料
- ・ 国民経済計算、産業連関表、県民経済計算等の作成のための資料
- ・ 激甚災害制度における激甚災害指定基準のための資料

【ホームページ掲載案内】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「農家の所得や生産コスト、農業産出額など」の「生産農業所得統計」で御覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou_sansyutu/#y1

- ・ 本資料の詳細な数値は、ホームページに掲載（令和8年3月予定）します。
- ・ 本資料の推計に用いた基礎データが訂正された場合は本資料の数値も修正することとし、修正値はホームページに掲載します。

お問合せ先

◎本統計結果について

農林水産省 大臣官房統計部
経営・構造統計課 分析班
電話：（代表）03-3502-8111 内線 3635
（直通）03-6744-2042

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電話：（代表）03-3502-8111 内線 3589
（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



SAFF

データの力で。

農林水産統計
Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries